

令和8年6月定例会 一般質問 小西高吉議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。

「香芝市の「稼ぐ」戦略について」

○小西高吉 ただいま議長のお許しをいただきましたので、私の一般質問をさせていただきます。

今回のテーマとしましては、香芝市の稼ぐ戦略についてです。

私は単に一つの施設を造ってほしいと言っているのではなく、そして単に予算をつけてほしいと言っているのでもありません。香芝市がこれから本当に稼げる町、選ばれる町、この選ばれる町は先日奈良新聞の一面に三橋市長と一緒に住民に選ばれる街へというようにどんと出てたわけなんです、そして子育て世代が市内で過ごす町、高齢者が健康に暮らせる町、そして次世代に責任を持てる町へ向かっていただけるのか、その意思があるのか。

そして、香芝市はこれまで住宅都市、ベッドタウンとして発展してきたと思います。大阪に近い、交通利便性がある、住宅地として住みやすい、子育て世代も多い、これは香芝市にとって本当に大きな強みだと思います。

ただ、市民は働くのは市外、休日に遊びに行くのも市外、外食するのも市外、買物するのも市外、子供を遊ばせるのも市外、消費の皿が少ないように思います。交通の強みがあるのに立ち寄る理由がない、子育て世代はいるのに休日に市内で過ごす場所が少ない、高齢者が増えているのに毎日外に出たくなる健康拠点が弱いように思います。

以上のことを踏まえて、今回質問させていただきたいと思います。

1つ目に、稼ぐとは何かということで、これは3月議会の予算特別委員会において稼ぐという答弁がございました。具体的に、この稼ぐというのは何を指しているのか。普通からいうとお金を稼ぐと、あとは時間を稼ぐ、まさか時間を稼ぐ意味でおっしゃられたのではないと思いますが、この稼ぐとは何かというのを1回目の質問とさせていただきます。答弁、よろしく願いいたします。

○市民環境部長 失礼いたします。

令和8年3月、香芝市議会定例会におきまして、ご指摘の審議におきましては観光という視点での答弁でしたが、市外から本市に来訪をいただき、市内の飲食店などで消費していただき、市内の商工業の振興につなげることが観光の最終的な目標であるとの認識を示したものでございます。このように地域外からの消費や資金を獲得することを稼ぐと表現し、答弁したものでございます。

以上です。

○小西高吉 答弁ありがとうございます。

後ほど観光についても伺いしたいと思いますが、次にカッシー君、当初の一番最初のカッシー君ってちょっと見栄えが、悪いとは言いませんけど、今のカッシー君大分かわいくなっているというように思ってるんですが、このカッシー君を稼ぐ方法の一つとお考えであれば、年間売上げ等の費用対効果ですよね、費用対効果はどのようになっているのか、お答えいただけますか。

○市民環境部長 カッシーグッズにつきましては、令和7年度の売上げは24万1,590円でございます。カッシーグッズの販売価格につきましては、利益を追求せず、製造原価に販売手数料を上乗せした価格としてございます。そのため、利益を生み出しているかという観点から評価することは難しいところではございますが、カッシーグッズの販売を通しまして、本市への愛着の醸成や本市の認知度向上を期待しているものでございます。

以上です。

○小西高吉 今の答弁からいくと、利益まではいかないと、とんとんになったらいいかんというような感じなんですけど、ちなみにカッシー君グッズは稼ぐ目的で作成、販売されているのか。先ほどの答弁でいくと違うのかなと。再度確認だけさせていただきますか。

○市民環境部長 カッシーグッズにつきましては、マスコットキャラクターカッシーを活用し、本市への愛着の醸成や本市の認知度向上を図るものであり、稼ぐこと、すなわち利潤を追求して実施しているものではございません。

以上です。

○小西高吉 香芝市を売る一つの方法としてということだと思うんですが、ぜひこれでも利益が生めるように、王寺でしたら雪丸君ですかね、相当利益を生んでるのかなと思うんですが。

次に、香芝市の最も有名な観光地の一つであるどんづる峯なんですけど、これの年間の来訪者の推移をお教えいただけますか。

○市民環境部長 どんづる峯の年間の来訪者数の推移でございしますが、平日の実数値を基礎として推計したものととなりますが、令和5年は7,688人、令和6年は1万431人、令和7年は1万419人でございます。

○小西高吉 一応去年、大体伸びてきてると、増えてきてるといように認識してもいいのかなとは思いますが、そこで先ほど一番最初に稼ぐで観光によってお金を落としていただくとかというご答弁があったわけなんですけど、このどんづる峯に来ていただいた方にとっての経済効果ですよね。毎年どんづる峯にお金をかけていただいていると、修繕なり、いろいろしていただいているわけなんですけど、ただ前回というか、もう相当前ですけど聞かせていただいたときは、経済効果はないとはっきりそのときは答弁されてるんですけど、その点いかがですか。

○市民環境部長 来訪された方が一定数市内で消費していただいているものと推測されることから一定の経済効果があるものと考えてはございますが、具体的な経済効果については分かりかねるところでございます。

以上です。

○小西高吉 実際、どんづる峯の近くに飲食店というのもほぼないような状態ですよ。下手したらもう大阪へ行ってしまうというような、立地的にもそういう場所にあるということだなというようには思うんですが。

次に、稼ぐという視点で、現状での地域活性化対策、交流人口増加に資する取組と今後の取組、併せてお答えいただけますか。

○市民環境部長 令和8年4月23日から株式会社バンダイナムコエンターテインメントが展開していただいておりますコンテンツ、アイドルマスター SideMとのコラボレーションイベント、「アイドルマスター SideM in K@SHIBA」を開催してございます。同年5月29日時点で1,571人の方にスタンプラリーに参加していただいている状況でございます。アンケート調査の結果から、その約96%が市外から来訪され、1人当たりの市内での消費額は平均1万8,300円であり、約2,700万円の地域消費額を見込んでいるところでございます。

本市は、県内でも観光資源が乏しいという認識ではございますが、いわゆる観光地に限らず、アイドルマスターのような新たなコンテンツを活用した交流人口増加及び地域活性化に資する取組を今後も検討してまいりたいと考えてございます。

以上です。

○小西高吉 このアイドルマスター、スタンプラリーも含んでですけども、もう7月22日で終わりなんですかね。この後ですよ、問題は。これをどう生かしていくのかっていうところも今後しっかり検討していただいていくという強いご答弁をいただいておりますので、ぜひ生かしていただきたいなと。

こういう来場いただいた方も何かどんづる峯で写真を撮っていただいてSNSで発信していただいて、どんづる峯の魅力も同時に発信していただいているということも聞かせていただいておりますので、ぜひこの機会を十分生かしていただきたいということを切にお願いしておきます。後ほどどんづる峯も含んだ中で、ちょっとまた聞かせていただきたいと思いますが。

次に、中項目としてスポーツコミッションの考え、交流人口創出、これも何度も質問させていただいております。

観光自体がどうしてもやっぱりどんづる峯、二上山といっても二上山がほかの市等にもまたがっていることもあって、香芝市だけでいくと大きなあれとしてはやっぱりどんづる峯だろうと、観光としては。やっぱり弱いということで、あとほかに何が方法あるのかと、交流人口、よそから来ていただいて、そしてこの香芝市でお金を使っていただく、落としていただくということを考えた中で、提案もこれ以前からスポーツコミッションの考え、設立をずっと訴えさせていただいているんですが、これについて、1つ目として、この現時点で人工芝グラウンドの整備計画ですよ。これも以前から何回もお願いしてるんですが、特に新たに土地を買ってということまで僕は言ってないんです。あくまでも今既存のあるとこ

ろを有効利用したらどうだということで提案させていただいてるんですが、**県民運動場ですよね、ここに人工芝を敷いていただいて人工芝グラウンドにさせていただきたいと。**そのときも調べさせていただいて、マウンド、盛り上がったマウンドがあるんで、それはどういうふうにしたらいいのかというと移動式のマウンドもあるということも調べさせていただいております。そういうところからいって、**その計画についてはいかがですか。**

○**教育部長** お答えいたします。

議員が以前から提案していただいております奈良県香芝県民運動場の人工芝生化につきまして検討はいたしました、残念ながら実現は困難であると考えてございます。

以上でございます。

○**小西高吉** 困難な理由はお教えいただけます。

○**教育部長** お答えいたします。

費用面につきまして、令和6年12月、香芝市議会定例会で議員よりご質問があった際に、令和4年10月時点での参考見積りで本市の単独費用として約3億円弱であったことを答弁しておりますが、当時においても奈良県香芝県民運動場の芝生化に充てることは難しいと判断しておりました。その後においては、物価高騰の影響により資材の価格も上昇しているため、奈良県香芝県民運動場の芝生化はさらに難しくなっているものと考えております。

また、奈良県香芝県民運動場は様々なスポーツに対応したものではないため、仮に人工芝生化したとしてもその施設が利用者の需要を満たすことができず、また大規模なスポーツ大会を開催できる規模ではないと考えられることから、本市の一般財源を投入してまで人工芝生化することは望ましくないと思慮いたします。

以上でございます。

○**小西高吉** 3億円と、それは自主財源ですか。補助金というか助成金ありますよね。スポーツ振興くじ助成金とかそんなんも利用した中で、市の単独の持ち出しが3億円ということですか。

○**教育部長** こちらにつきましても、以前答弁したとおり、スポーツ振興くじ助成金というものがございまして、こちらについては助成対象事業の費用、上限6,000万円の5分の4に相当する4,800万円までは助成されてございますが、ただそれを考慮したとしても約3億円弱ほど、今の物価に換算しますとそれほどかかってくるのかなというふうに考えてございますので、やはりその財源を投入してまで整備するということは難しいのではないかと考えてございます。

以上でございます。

○**小西高吉** そうですよね、スポーツ振興くじ助成金、限度額が6,000万円に対して5分の4、4,800万円の助成をしていただけるということ、それも十分分かせてはいただいているんですけど、何か方法ないんですか。全面をするんじゃなくて部分的にするとか、何か方法はあるのかなと思うんですけど。

県民グラウンドって基本的に野球ができないグラウンドですよ。あくまでもソフトボ

ール、サッカーとか、あとゲートボール、グラウンドゴルフとか、基本的に野球をできないというようになってしまっているわけですね、今は。そこからいくと、もっとやっぱいろんな意味で、はっきり言って香芝市にそういう人工芝のグラウンドはないですし、ほかは野球もできることも多いでしょうし、いろんな意味であの県民グラウンド、立地的にも、今、前の道の拡幅工事入ってるわけなんですけど、あそこを生かさない理由が分からないんですけど。せっかく駐車場も広げられた、体育館も改修されたということでいくと、あそこを全体的に考えるべきだと思うんですけど。その点、しつこく言っても無理ですね。その点、再度また考えていただけないかなというように思います。

いつとき、前に質問したときに、体育館の改修終わったら考えますっていう、ちょっと前向きな答弁かなと思ってたんですけど、最終的にこういう答弁だということで、改修を待ってた者としては残念に思います。

次に、スポーツコミッションで交流人口を創出する、そんなお考えはございませんでしょうか。スポーツコミッションというのは、スポーツによるまちづくりの取組を促進、支援する組織、スポーツと地域資源、景観、環境、文化などを掛け合わせ、戦略的に活用することでまちづくりや地域活性化につなげる取組を推進するネットワークというような説明もございますが、その点、交流人口創出のお考えはございませんか。

○教育部長 お答えいたします。

スポーツ大会やスポーツイベントを開催することにより交流人口は増えるものとは考えてございますが、地域活性化の効果があるというところは、必ずしもそうであるとは限らないというふうに考えてございます。

以上でございます。

○小西高吉 かといって、観光弱いんですよね、香芝市。それは一つの方法としてスポーツ大会、スポーツによって、総合大会も空調設備まで整えて、そこからいくとスポーツでっていうことも大きな香芝市にとってはメリットあると思うんですけど、今の答弁でいくと全くないというような考えだということですかね。再度お願いします。

○教育部長 お答えいたします。

地域スポーツコミッションによる成功事例につきましては、スポーツ庁等のホームページにおいても示されているところでございますが、成功するためには比較的大規模な大会を行うことができるように大会を開催する施設の設備等が充実していること、交通の利便性が優れていること、施設の周辺に宿泊施設や飲食店等があることなどの様々な要件を兼ね備えている必要があるものと思慮いたしますので、ちょっとその辺のところはなかなか難しいのではないかと考えてございます。

以上でございます。

○小西高吉 香芝市、交通の便いいですよね、じゃないんですか。香芝市の売りって、交通の便がいいっていうところありますよね。駅も8個の駅があると。香芝インターチェンジ、後ほど香芝インターチェンジについてもお聞かせいただきますけど、西名阪も通ってると、中

和幹線もあると。その答弁、ちょっと納得いきにくいんですけど。

今後において、ちょっと基礎調査していただくということはできないんですか。その点、いかがですか。

○**教育部長** お答えいたします。

現時点におきまして、先ほども同じ、繰り返しの答弁になりますが、既存の公共施設、まとまった規模でのそういったスポーツ大会やスポーツイベントを開催してスポーツコミッションとしての設立が、運営が効果的であるかというところをちょっと十分考えてございませんでしたので、現時点においては基礎調査を行うという考えはございません。

以上でございます。

○**小西高吉** そしたら、スポーツコミッションという考えは置いて、スポーツ大会やスポーツイベント、香芝市にとっての交流人口増加や地域活性化の効果はあると考えられるのか、その点お答えいただけますか。

○**教育部長** お答えいたします。

先ほどの議員のご指摘のような、芝生化したそういったグラウンドを使って地域コミッションとしての運営という観点でいきますと、集中的な投資が必要でございますので、本市としては少し期間を要するものの、香芝市スポーツ公園においての整備を検討していくことが望ましいのではないかと考えてございます。

以上でございます。

○**小西高吉** スポーツ公園、それは分かってるんですよ。それを言われると、いつできるんですかっていう話になってくるんです。いつできるんですか。

○**都市創造部長** まだ造成工事を行っている途中でございます。今年4月1日からはプール部分につきまして供用開始はさせていただいておりますが、今後は令和13年の国民スポーツ大会に向けてスポーツクライミング施設を造っていく予定でございます。それ以降になって初めて多目的競技場、多目的グラウンドを整備していくというふうになってますので、ちょっと年数については今回控えさせていただきます。

以上です。

○**小西高吉** 取りあえず、プールが開園して、令和13年に向けてスポーツクライミングの設備を整えると。あとグラウンドとか、そういう施設については分からないと。その後、どっちにしてもその後になるということですね。それと同時に進めるということは無理なんですね。

○**都市創造部長** 交付金のつき具合にもよりますけども、やはりまずは令和13年のスポーツクライミング施設を先に整備させていただいた後に、多目的グラウンド、多目的競技場になるというふうに考えております。

以上です。

○**小西高吉** 取りあえず分かりました。後ほどまたそれも含んだ中で聞かせていただきます。

次に、中項目3として、クロスゲート構想と志都美地域活性化についてお伺いさせていただけたらと思います。

道路でいう玄関口というと、香芝のインターチェンジかなというように私自身思います。そこからいくと、志都美、志都美ですよ、あの地域、志都美地域を活性化することも含んだ中で、クロスゲート構想が必要ではないかというように思います。

その1つ目として、私自身志都美で生まれ育って57年になるわけなんですけど、その地元議員としてやっぱりこの志都美地域の児童数の減少の分析をどんなふうにして捉えておられるのか、その点ちょっとお聞かせいただけますか。

○市長 志都美地域も含めまして、香芝市の、主に北部の地域につきましてでございますけれども、白鳳台等の住宅地として発展をしてきた部分もございますけれども、1つ時代を超えまして、子供たちの人数が少なくなっているというふうにも認識をしております。

一方で、従前から申し上げておりますけれども、市街化調整区域として特に王寺町との市、町境付近につきましては、土地の利用規制が著しく厳しい状態で残されてございまして、それらにつきましては市街化区域への編入等も含めまして、奈良県に対して要望を継続しているところでございます。

その上で、行政界をまたがりますけれども、これらの地域につきましてはまだまだ発展する余地があるものとして、王寺町とも意見交換をさせていただく中で、粘り強く奈良県に対して土地の利用規制の見直し、都市計画の変更等を求めているものでございます。長期的には、まだまだ発展を目指していきたいというふうには考えてございます。

○小西高吉 減少、市内でいくと志都美小学校の生徒数が減るのが一番早いのかなというように皆さん認識されてると思うんですけど、そこを食い止めるためにも、やっぱり住んでいただける場所、先ほどおっしゃっていただいて、計画の変更等あろうかと思うんですけど、それプラス空き家対策も考えないといけないし。

そんな中で、このクロスゲートシティー、一般でいうとクロスゲートシティーというような認識で呼ばれておられるんですけど、そういう市等の玄関口、一般的に言うとやっぱり駅を利用されているというのが多いようなんですけども、そのようなまちづくりの考えはお持ちでしょうか。

○都市創造部長 主要駅の交通結節点における都市計画の再編に関して、本市は令和6年9月に策定した第1次香芝市都市計画再編基本方針に基づき、まずは近鉄大阪線五位堂駅周辺について、人々の集う新たな商業施設の整備やマンション等の共同住宅の建設を促進することにより、1階から3階程度までの低階層に店舗等の商業施設があり、それより上層階の部分に居住スペースが設けられたマンション等が立ち並ぶことで人々の日常生活の利便性を向上させるとともに、さらなるにぎわいが創出され、子育て世代はもちろんのこと、駅前での生活を希望する高齢者世代も含め、あらゆる世代が暮らし、交流し、買物や飲食等を楽しむことができる活気のあふれる町として発展させていくことを目指すという考えを持ってございます。

以上です。

○小西高吉　そうですね、五位堂ですよ、五位堂に力入れておられるというのは十分理解もさせていただいてます。市長の頑張りというか、働きのおかげで特急電車も止まるようになったということで、五位堂駅を主に置かれてるわけではないと思うんですけど、結果的にそうなってるのが現状だと思います。それはどっちかというと、南、南側になるんですかね。そうすると、やっぱり北部ですよ。東西もちろんありますけど。その北部でいうと、やっぱり西名阪をやっぱり生かすべきだというふうに思います。

そこで、香芝インターチェンジ周辺においての企業誘致、雇用創出をどのようにお考えなのか、お教えいただけますか。

○都市創造部長　ＪＲ志都美駅周辺の地域については、香芝市立地適正化計画において、医療・福祉及び商業等の住民の福祉や利便の向上のための都市機能を誘導する区域として設定しております。一定の商業施設の集積が進んでおり、また国道168号と西名阪自動車道が交差する香芝インターチェンジ周辺の地域については、香芝市都市計画マスタープランにおいて、恵まれた交通条件を活用した都市の活性化を先導すべき地区として、地区計画等の活用により、周辺環境と調和を図りながら商業施設等の立地を誘導することを目指しているところでございます。

以上です。

○小西高吉　特に、次で聞かせていただくんですけど、香芝サービスエリアにスマートインターチェンジ、ＥＴＣのみの出入りできるような、そういうインターチェンジを造っていただいて、スポーツ公園にもそこから直結して行けると。その途中には企業を誘致して、それが倉庫業になるのか、郡山のほうにも相当大きな倉庫ができた、物流関係でね。せやから、この物流というのはどうしてもやっぱりそういう、この西名阪インターチェンジの近くでっていうのは一番自然な形だと思うんで、それも造って、先ほど教育部からありましたけど、スポーツ大会を開いても泊まる場所がないというような答弁で無理やということもおっしゃられましたけども、そこにホテルも造ると。そしたら、全てにおいて、私がお願い、提案していることも形となってくるのかなというようにも思います。

ただ単に、これせえ、あれせえって言ってるわけじゃなくて、いろんなことを想定しながら、考えながらこの香芝市にとって、選ばれる町にするためにも、やっぱりよそから来ていただかないといけないし、住んでる方も出ていってもらわないようにしなければならないということの思いでいろいろ提案もさせていただいてるんですけど、このサービスエリアにスマートインターチェンジを造って地域活性化に結びつけるという、そんなお考えはございませんか。

○都市創造部長　議員ご提案の事項については、道路構造や地形条件からスマートインターチェンジの設置が可能かどうかについて、西日本高速道路株式会社と協議を行うことが必要でございます。その上で、設置が可能と判断された場合には、国土交通省が示すスマートインターチェンジの検討、整備手順についてにあるように、本市において必要性や整備効

果に関する広域的検討、予備設計、交通量調査、交差点設計などの概略検討等を実施することになります。これらの検討を踏まえ、国として必要性が確認された箇所につきましては、国による準備段階調査が実施され、調整を経て、新規事業化が図られるものでございます。また、本市としては他自治体の先行事例を調査し、必要性も含めて研究を進めたいというふうに考えております。

以上です。

○小西高吉 僕、20年近く前に一度公団、西名阪に聞かせていただいて、スポーツ公園に直結できるためにサービスエリアからスマートインターチェンジを造ってほしいということで問合せさせていただきました。ただ、そのときはやっぱり1キロ以内ぐらいにその施設がないと無理だという、今はどう変わってるのか分かんないんですけど、その当時はそう言われました。

そっからいくと1キロ圏内に企業、そしてホテル、その先にスポーツ公園があるということで、そうなってくると公団のほうでインターチェンジを造っていただけるんじゃないのかというように思いますので、強く提案しておきます。

そこで、この志都美地域において今気がかりなのが168号線の拡幅ですね。今、上中地域において西側工事、ずっと入っていただいています。市議会からも皆さんのご協力で意見書も出させていただいたんですが、県民運動場北側の交差点を信号機のある交差点にということで出させていただいて、その後県、公安になるんですかね、はどのような今状況にあるのか、今分かる範囲で結構なんですが、お教えいただけますか。

○都市創造部長 昨年意見書も出していただきました。その後におきまして、本市から自治会、各種団体からも要望を出させていただいております。それと本年の4月13日なんですけれども、奈良県高田土木事務所の所長、主幹、計調課長さん、管理課長さんも含めて本市に来られまして、本市から三橋市長、堀本副市長、私、樋口都市創造部理事、中村都市創造部次長、青木市長公室次長などが現地に行かさせていただきました。現地のほうで強く要望させていただいております。

そのときに本市としてはコミュニティバスの停留所付近においての歩行者の横断だけではなく、緊急車両の出入りも含め、県民運動場北交差点において信号機付きの交差点設置を強く要望させていただいた状況でございます。

以上です。

○小西高吉 そうやって動いていただいて、よかったですわ、聞かせていただいて。そういう動きをしていただいているのは。やっぱり見えないんでね、僕ら。聞かせていただかないと分からないことだった。

ただ、まだ答えは出てないということですよ、要するに。最後は公安委員会が決めることだというように、信号については公安委員会だというように聞かせていただいていますけれども、ちなみにいつぐらいに結論が出るとかという情報はあるんですか。

○都市創造部長 そこについては、まだちょっと情報がないような。また、今回議員からの

ご指摘もございましたので、再度もう一回高田土木事務所のほうに確認はさせていただこうと思っております。

以上です。

○小西高吉 あそこ、近隣にお住まいの皆さんはやっぱり期待されておりますし、やっぱり一番は安全を守るということで、下手したらやっぱり信号交差点がなかったらそこを無理やり渡ろうとする人も出てくるかもしれないんで、ぜひ強くお願いしておきますし、感謝、そうやって動いていただいている、働きかけていただいているということには感謝申し上げます。

次に、中項目4といたしまして、未来型公園整備の考えはということで、1つ目として子育て世代が半日、1日過ごせる滞在型の公共空間を整備するお考えはあるのでしょうか、お教えいただけますか。

○都市創造部長 滞在型の公共空間の意味するところが必ずしも明らかでないため、お答えすることは困難ではございますが、公園整備に関してはP a r k－P F Iなどの制度を活用し、都市公園に滞在型の施設を導入する可能性について、香芝市総合公園を対象に検討してまいりました。公園を利用目的とする人以外の人が来園することを期待できず、年間を通して集客が見込めないため収益化が難しいとする意見が多くあり、困難であるというふうに認識しております。

以上です。

○小西高吉 未来形公園ってネットで調べていただいたらいろんなところの映像というか、写真等も出てきますんで、今ないようなものを設置するように、そしてせめて半日、もしくは1日そこで本当に遊びたいと思っていただけるようなそんな公園、それには土地も必要だろうとは思いますが。

次に、公園を高齢者の健康増進、フレイル予防、介護予防、孤立防止の拠点として位置づけられるお考えはございませんか。

○都市創造部長 公園を高齢者の健康増進、フレイル予防、介護予防及び孤立防止の拠点として特別に位置づける考えはございませんが、都市公園には健康遊具等の設置も進めていることもあって、公園がそのような機能を果たしていくこととなることは十分に考えられるというふうに考えております。

以上です。

○小西高吉 今はもうやっぱりそういうふうに考えていかないと、健康増進のためのやっぱり公園というのはいろんなところでされておられますけど、やっぱりそれを一体にして考えた中での公園整備をぜひしていただきたいというように思います。

最初のほうに、稼ぐというところで観光のほうで聞かせていただいて、どんづる峯のことも聞かせていただいたわけなんですけど、次にどんづる峯を一体として総合公園ですよ、これも以前からいろいろ提案もさせていただいてるんですけど、この総合公園にアスレチック、そしてバーベキュー場ですよ、バーベキューができる場所、これ水道局のところにあった

んですけどもなくなってしまっていて、皆さんどっかないんかという問合せもよくあるんですけど、そういったことを造るお考えはないのかなと。その点、お聞かせいただけますか。

○都市創造部長 香芝市総合公園整備事業について、東側区域のうち旧プール施設が残置されている部分を整備する際に、アスレチックやバーベキュー場等の施設の整備についても検討することとしております。

しかし、これらの施設につきましては、年間を通じて安定した集客が見込めない場合には運営費や維持管理費が課題となるため、慎重に検討が必要であるというふうに考えております。

以上です。

○小西高吉 ぜひアスレチックとか造るのであれば、やっぱり収益というか、王寺の美しヶ丘の上ですかね、あそこのアスレチックは何か二、三千円入るのに要るとかというお話も聞かせていただいています。

その一つに、以前提案させていただいた、総合公園のプールを生かして釣堀をしたらどうやということで提案させていただいて、それは何か調べていただいて業者にも聞いていただいたら、なかなか難しいと、利益を生むのは難しいということでしたけども、こういうアスレチック、バーベキュー場、あと何かふわふわドームも考えていただいているというお話も聞かせていただいているんですよ。それも一体で考えた中で、釣堀もありなのかなというようにも思います。

ですから、もうけというか、プラスにならなくても維持管理費ぐらいは出るようなこともやっぱり考えてしていくべきじゃないのかと。ここが稼ぐじゃないのかなというように思いますんで、それも一度考えていただきたいというように思います。

あと、この総合公園に当たっては165号線の拡幅、四車線道路ですよ。これがどうしてもついて回ってくるとは思うんですけど、その165の拡幅の状況は今どのような感じなんだろう。

○都市創造部長 大阪国道事務所に確認をいたしましたところ、回答としては用地の取得率が90%でございまして、今年度につきましてはまた埋蔵文化財の発掘調査を進めるという回答しか得られておりません。完了時期についてのお答えも求めたんですけど、そこはちょっと明言できないということで回答がございました。

以上です。

○小西高吉 この165拡幅については中和幹線の観点から市長は先頭を切って、先頭になって国にも働きかけていただいているということで、いろんな形で形が見えてくるのかなと思ってんですけどまだ答えが出てこない。なかなか国としても中途半端なことは言えないということなんだろうとは思いますが、どうしてもこの総合公園、最終的にはやっぱり拡幅した中での最終工事になってくると思うんで、ぜひ併せてお願いしておきます。

次に、身近な公園の整備の考え方についてなんですけど、今どうしても住宅内にある公園等はボール遊びが禁止だというのがもう何か普通になってるんですけど、そうするとやっ

ぱり小学生ぐらいの皆さんらがボール遊びする、キャッチボールなり、サッカー、ちょっと蹴り合うとかというところも実際今ないような状態で、今度やっぱり大きいグラウンドになってくるとやっぱり借りるのにお金が必要とか、予約が必要だとかというお話になりますし、その点やっぱりそういった本当に身近な公園の整備についてのお考え、ありましたらお教えいただけますか。

○都市創造部長 市内の都市公園の多くは、開発事業や区画整理事業に伴い整備されたものでございます。古くから集落が形成されている市街地において都市公園が不足しているという認識を持っております。用地取得の可能性や財源の確保の見通し等を考慮しながら、都市公園の整備について検討を進めていくこととしております。

以上です。

○小西高吉 昔は本当に空き地とか田んぼとかで僕らも野球したり、させていただきました。昔は空き地も多かったと。そこからいくと、今田んぼでも実際田んぼとして使われてないところをそういうふうに使わせていただくとかというのもやっぱり今後として考えていただきたいなと思いますんで、それはもう要望しておきますんで、ぜひご検討いただけたらというように思います。

次に、ランドデザイン協議会の考え方について、これ前回はさせていただいて、今の時期ではないというような、早いんではないかというご答弁もあったわけなんですけど、ただ点の整備から線へ、そして面ですよね。点から線へきて、面。そのお考えはどのようにお持ちですか。

○市長公室次長 個々の施設や事業を単独の点として整備するだけでなく、それらを道路、公共交通、公園緑地などのネットワークで線としてつなぎ、最終的に地域全体の魅力や利便性を高める面のまちづくりへ展開していくことは、本市が進める都市経営の基本的な方向性と一致するものでございます。

本市におきましては、第5次香芝市総合計画を最上位計画といたしまして、7つの政策、33の施策を体系的に位置づけ、個別事業が相互に連携するよう調整を図ってございます。また、令和7年3月に策定いたしました中期基本計画におきましても、前期の評価や市民の意向等を踏まえ、施策の再整備を行ったところであり、こうした計画体系の下で点から線、そして面へと広がるまちづくりを推進してまいりたいと考えてございます。

以上です。

○小西高吉 そうですよね。私が提案しているのは、面から行って、線に来て、点に来てると思ってるんですよ。今提案いろいろさせてもらってるのはね。せやから、その面に行くための線を作って点、その点がインターチェンジのスマートインターチェンジであって、その道もその途中には企業もホテルも造って、その面、最終、面に行くのがスポーツ公園という、この志都美、地区でいくとね。そういうふうに提案もさせていただいてるんで、その点は一致するのかなというように、その点は喜んでおきます。今までいろいろ質問させていただいてますけど、全否定的な状態で今ずっと来てるんで。

次に、縦割り組織だけでなく、横断型のまちづくりの体制、これのお考えはお持ちですか。

○市長公室次長 本市におきましては、令和8年4月に市民協働課と商工観光課を統合いたしましたして、新たに地域振興課を設置いたしました。これにつきましては、市民協働のまちづくりの企画及び調整、推進、広域的な市民団体の支援及び規制、地域交流に加えまして、商工や観光といった地域経済の視点を一体的に担う体制とすることで、まさに分野を越えた横断的なまちづくりをする狙いがございます。総合計画の推進や個別の重要施策につきましては、関係部署が連携する庁内調整の仕組みを通じて部局をまたぐ課題に対応しているところでございます。

このように、本市といたしましては、既存の庁内体制の再編と関係部室間の連携の強化によりまして、実効性のある横断型のまちづくりを進めてまいりたいと考えてございます。

以上です。

○小西高吉 今現在も横断型になってるよという答弁なんですけど、ただ横断型ということは皆さんが知ってないといけないし、情報も共有してないといけない。はっきり言って理想論やと思うんですけど、多分今それないですよ。みんな情報共有されてます。その点、ちょっと僕疑問に思うんですけど、聞いても知らないというようなお話もあるんで、その点また徹底していただいたらというように思います。

そこで、これグランドデザイン協議会ということで質問させていただいてるわけなんですけど、そこに向かっての、今すぐもう無理だと、時期が早いと、それに対応できないというようなお話も、答弁もいただいてるんで、ちなみにスポーツ公園、先ほどスポーツ公園、プールが開園し、クライミングは令和13年に向けて設置すると、その後いつできるか分からないと。

その中で、いろんなスポーツ公園、あれも造ってほしい、これも造ってほしいという实际需要もあれば、市としてのお考えもあるという中で、グランドデザイン協議会までいかなくても、このスポーツ公園の設置に向けた市民中心の協議会の設置、これいろんな意味で材料も高騰してきてお金もどれだけかかるか分からないというような状況になりつつある中で、本当に市民にとって何が必要なのか、必要のないものを造っても仕方ないんで、それにお金かける必要は僕もないと思うんで、その中で市民が本当に一緒になってこういうふうなのを造ったほうがいいと、これを造ることによって稼ぐにつながるというように僕はすべきだと思うんですけど、そういったスポーツ公園の設置に向けた、そういった協議会を設置するお考えはございませんか。

○都市創造部長 市民の皆様のご意見を整備に反映させることの重要性は十分に認識しております。一方で、本市としてはこれまでも議会で答弁させていただいたとおり、新たな協議会を設置するのではなく、市民アンケートやパブリックコメントなど、既存の市民参加の手法を活用して、市民の皆様のご意見を把握し、整備内容に反映していきたいと考えております。こうした手法を適切に運用することで、市民の声を取り入れながら長期にわたる事業を着実に前進させたいと考えております。

以上です。

○小西高吉 アンケート、パブリックコメント、もちろんそれも方法の一つだと思うんですけど、なかなか前に進んでいかないように思っただけなんです。だから、今の答弁でいくと協議会設置するつもりは全くないという答弁だとは思いますが、考える余地はあると思うんですけど、今言ってももうそれ以上の答弁はないだろうと。なぜって本当は聞きたいんですけど、何でもそこまで否定されるのって聞きたいんですけど、そこまではもう今回やめときます。

最後に市長にお伺いさせていただきたいんですけど、市民、事業者、専門家、行政が一体となって、住むだけの町から、稼ぎ、そして回り、そして市長がおっしゃられている選ばれる町へのお考え、市長としてのお考えをお聞かせいただけますか。

○市長 本市が持続可能な都市経営を続けていくためには、ベッドタウンとして住むだけの町にとどまらず、地域に経済が循環し、市内外から選ばれる町を目指していくことが極めて重要であると認識をしております。

本市は、第5次香芝市総合計画に基づき、各種施策を推進し、人口減少の克服と地域経済の活性化に取り組んでございます。また、各種のシティプロモーションを通じて本市の魅力を戦略的に発信することで、定住人口、交流人口及び関係人口の創出に努めているところでございます。

先ほど申し上げました地域振興課の新設も市民協働と商工観光一体で担い、地域経済の循環と魅力向上を一体的に進めるための体制でございます。市民、事業者、専門家及び行政の連携につきましては、まちづくり提案活動支援事業などを通じて、市民団体や事業者が地域課題及び行政課題の解決に取り組む協働の仕組みを引き続き運用していくこととしてございます。

このように本市といたしましては新たな協議会というような場の設置という手法によらずに、総合計画を軸とした政策推進、シティプロモーションによる魅力発信、組織再編による横断体制の強化、そして既存の協働事業の充実を組み合わせることにより、議員ご指摘のように、稼ぎ、回り、選ばれる町の実現を目指してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○小西高吉 ぜひお願いしたいと思います。この稼ぐについては、もうパート1にしときますわ。また、次回この続きでいろいろな提案をさせていただきたいなと。やっぱり一番は自主財源確保が一番、何するにしてもお金が必要でございますので、お金も稼げる、そんな香芝市になるよう、また私もしっかり勉強してまいって、質問もさせていただきたいと思っておりますので、今後ともお願いしておきます。

以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。